

平成13年度長崎県総合水産試験場の事業について

長崎県総合水産試験場
企画開発推進室

平成13年度の総合水産試験場の事業について紹介します。

総合水産試験場は、長崎県水産業振興基本計画を技術面から支援するため、資源管理型漁業の推進や養殖業の振興、水産加工業の育成強化等各分野にわたる試験研究課題に取り組んでいます。

分野別の研究事業件数と事業費は次のとおりです。

分野別の研究事業件数と事業費

(研究分野)	(件数)	(事業費 万円)
水産資源	6	4,317
漁場・環境保全	3	974
水産増養殖	18	14,396
(増殖)	(8)	
(増養殖)	(4)	
(養殖)	(6)	
水産加工	5	1,824
その他	6	3,114
合計	38	24,625
		(調査船建造費除く)

また今年度は、研究事業の他に調査船「わかづる」の代船建造事業も実施いたします。

このなかで新規事業と主な事業ならびに調査船建造事業を紹介します。

主な事業と新規事業の紹介 (事業費 万円)

1 藻場に対する食害実態調査事業(新規)

400

藻食性魚類の藻場に対する食害の実態と、これら魚類の海藻に対する食性を明らかにし、藻場回復策に役立てます。

2 第2期養殖魚種多様化試験事業(新規)

540

養殖経営の安定化のため、種苗の量産が可能な魚種、未利用の小型天然魚等について養殖技術を開発

し、養殖魚種の多様化を図ります。

3 根付資源回復技術研究事業(新規)

307

アワビ類3種について、放流試験により栽培対象種としての評価を行うとともに、最適な放流方法を科学的に分析し、資源添加率の向上を図ります。また、大村湾のナマコについて資源量調査を行い、資源の合理的利用を図るための手法を開発します。

4 地域底魚類栽培資源管理開発調査事業(新規)

343

地域特産種であるオニオコゼ、ホシガレイについて、放流技術や資源管理手法の開発を行い、資源の増大を図ります。

5 有明海漁場環境調査事業(新規)

706

近年魚類及び貝類資源の減少やノリの不作など、漁獲量の減少が続いている有明海において国が実施する「有明海の生産力構造と漁業への影響評価調査」と連繋して、本県では沿岸域の調査を実施し、有明海の漁業資源の回復対策への知見を収集します。

6 新素材応用製品開発事業

428

酵素製材や天然物由来の添加物を使って消費者ニーズにあった水産加工品の開発及び既存加工品の品質向上を図ります。

7 赤潮プランクトン等監視調査事業

424

赤潮・貝毒など有毒プランクトンによる漁業被害を防止するため、伊万里湾や大村湾における赤潮プランクトン監視調査や県下全域の赤潮情報収集・伝達ならびに対馬・五島における貝毒監視調査を行います。

8 調査船「わかづる」代船建造事業(新規)

18,758

従来からの各種調査に加え、「ながさき型新水産業の創出」を図るための調査・試験研究を行うことができる性能や設備を有する調査船を、老朽化が著しい「わかづる」の代船として建造します。

以上、主な事業を紹介しましたが、総合水産試験場は今後とも、漁業者や水産加工業者など水産業に関係する方々のニーズに即した試験研究を実施してまいりますので、ご意見、ご要望がありましたら最寄りの水産業普及指導センターか、直接総合水産試験場までご連絡いただきますようお願いいたします。



総合水産試験場全景

長崎県総合水産試験場

〒851-2213

長崎市多以良町1551-4

【電話】

管理部総務課

095-850-6293

企画開発推進室

095-850-6294

海洋資源部

海洋資源科 095-850-6304

栽培漁業科 095-850-6306

漁業技術科 095-850-6308

種苗量産技術開発センター

種苗量産科 095-850-6312

種苗開発科 095-850-6364

水産加工開発指導センター

加工科 095-850-6314

養殖技術開発指導センター

環境養殖科 095-850-6316

病害科 095-850-6319